

令和6年度 地域循環共生圏づくり支援体制構築事業

キックオフミーティング 資料

活動団体の活動におけるテーマ 『西蒲区の地域課題を発掘し、解決するマルシェ』

- 活動団体の活動地域：新潟市西蒲区
- 活動団体名：YAKKOTE（やっこて）
- 中間支援主体名：新潟市

活動団体と地域の紹介

活動団体について

団体名	YAKKOTE (やっこて) 方言で「やるでしょ」の意味を持ちます
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ▶2016年に西蒲区中之口出身メンバーで団体を立ち上げました。 ▶「やりたい人が、やりたいときに、やりたいことを」をモットーに活動を続けています。 ▶企画ごとに地域の若者・コミュニティ・行政と連携していることが特徴です。 (活動事例) <ul style="list-style-type: none"> ・マルシェ企画運営 ・ジェラート屋の開業伴走支援 ・親子交流イベント ・郷土食PRイベント ・まちづくりシンポジウム ・地域の図書室リニューアル



西蒲区 (中之口) について

概要	<ul style="list-style-type: none"> ▶西蒲区は新潟市の南西部に位置し、市内8区の中で最も広く、面積は約4分の1を占めています。 ▶地形は変化に富み、市内で唯一、海・山・平野を併せ持っています。 ▶地域コミュニティ協議会の単位で9つの地区から構成されています。
資源	<ul style="list-style-type: none"> ▶多様な産官学地のコミュニティ 産：地元で愛される農家/事業所、 官：地元密着の自治会/区役所、 学：地域で学ぶ教育機関、 地：地域愛を持つキーパーソン ▶豊かな自然環境と観光資源 (角田山/多宝山、はぞ並木など) ▶広大な農地 (区面積の半分以上を越える田/畑など) ▶6次産業化の取り組み (農家レストランなど)



活動団体と地域の紹介

活動団体が活動をはじめたきっかけ

▶ YAKKOTEの立ち上げ

首都圏と比較して「新潟にはチャレンジできる余白が沢山ある」と感じたことが活動を始めたきっかけ

▶ YAKKOTEが覚えた危機感

- ・ 地元に対してマイナスな要素ばかり語る小・中学生
- ・ 進学を機に都市部へ転出する同世代
- ・ やりたいことを求めて若者が都市部に憧れ、流出する危機感

▶ YAKKOTEの活動

- ・ 地方でこそやりたいことを実現しやすい実感もある
- ・ 豊かな生き方を求めて、地方で活動できる可能性を大切にしたい

活動団体の理念・大事にしていること

▶ YAKKOTEのミッション

▶ 世代・立場・性別・出身・地域差を超えて、多様な方々が受け入れられるような楽しい地域をつくる。

▶ YAKKOTEの活動

- ▶ イベントを通じて世代間交流を活発にし、子どもから高齢の方まで顔が見える関係を作る
- ▶ 故郷の文化を再確認し発信することで、自分の地元を誇りに思ってもらう
- ▶ 地域課題を自分ごとと捉えたうえで、民間と行政、学生と社会人など多様な関係性を大事にする
- ▶ プレイヤーとサポーターの関係性を作り、チャレンジしやすい風土をつくる

活動計画（概要）

地域循環共生圏の構築を通じてありたい地域の姿

「やりたいときに、やりたいコトを、やりたいヒトと。」が実現できる地域。
情報/交流/場所/農産物/学び。全てがつながりシェアできる地域。

地域に必要なプラットフォームの体制や仕組み

▶プラットフォームの体制

- ・繋がりたい/チャレンジしたいプレイヤー
- ・応援したい/サポートしたいサポーター
- ・繋がり場の場を提供するマネージャー

▶プラットフォームの仕組み（案）

- ・気軽に交流できるコミュニティ機能
- ・ハネモノ農産物をシェアするマッチング機能
- ・地域の情報を集約する情報機能
- ・起業を支援するファンディング機能

ローカルSDGs事業として取り組む内容

▶にしかんマルシェ

西蒲区内を回遊するマルシェイベント。多様な人々の交流を生み出し、プラットフォームの土壌を作る。また、イベント自体にワークショップ機能を持たせ、地域課題の解像度を高める。

▶プラットフォームの具現化

（仮称：にしかんSDGsコミュニティ）

マルシェで集めた地域課題をもとに、例えば農産物の需給マッチングや、地域イベント情報を集約するコミュニティを構築する。

地域の現状

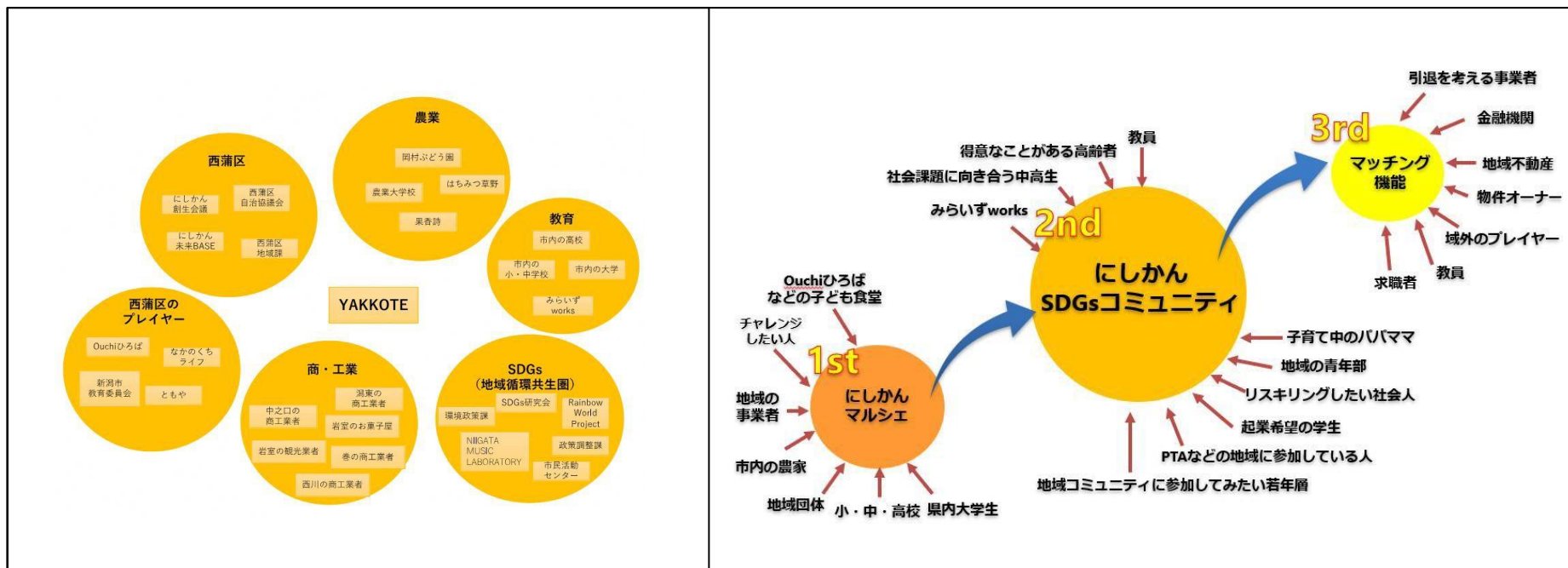
【現状】産官学地といった領域で、西蒲区を舞台に活躍するコミュニティ資源は豊富に存在している。しかし、横の繋がりが希薄なケースもあり、活動の場所・資源・タイミング・効果には伸びしろがある。

【背景】YAKKOTEが西蒲区でジェラート屋の開業を支援した際、「公園や廃棄果物を活用したいが、誰にどう協力を求めるべきか分からない」という**繋がるまでのハードル**を感じた。

一方で、地域では**繋がりさえすれば**応援してくれるサポーターは多く存在することも感じた。

目指す“地域プラットフォーム”のイメージ

現時点での体制



足りない資源（ヒト、モノ、資金、情報、等）※地域内、外も含む

- ・ コミュニティマネージャー機能
- ・ 地域の情報（ヒト・モノ・コト）を可視化し集約する情報拠点
- ・ 大小を問わずコミュニティ形成に関する支援機能
- ・ 大小を問わないプロジェクト組成支援機能

ローカルSDGs事業の詳細

地域プラットフォームで生み出そうとしているローカルSDGs事業の詳細

▶にしかんマルシェ

新潟市西蒲区内を回遊するマルシェイベント。多様な人々の交流を生み出し、プラットフォームの土壌を作る。また、イベント自体にワークショップ機能を持たせ、地域課題の解像度を高める。

▶各回にテーマを設定し、地域に暮らす個人や企業、団体の抱える課題等を、人とのつながりによって解決する「課題解決型のマルシェ」を年数回程度開催。

【一例】マルシェでは、「**フードロス・共生社会・地産地消**」の3つをテーマに掲げ、次のような製品の販売を行う。

- ・ **フードロス**：新潟市内の生産者や飲食店から出る規格外の農産品等や消費期限の迫った商品を集め、加工したり、詰め合わせて販売する。
- ・ **共生社会**：子育てや介護との両立、ハンディキャップを持ちながら働く人等、多様な働き方を通じて作られる加工品やハンドメイド製品を販売する。
- ・ **地産地消**：新潟市内で作られた新鮮な農産品や加工品、地域の課題から生まれた商品やアップサイクル雑貨など、地産地消の製品を販売し、地域経済の活性化を目指す。

上記の事業によって解決する、環境、社会、経済の課題について

■環境

⇒規格外野菜の販売等によるフードロスの削減に貢献。

■社会

⇒マルシェをきっかけとしたつながりによる地域コミュニティの形成。チャレンジする場や自己実現の場の提供。起業チャレンジの促進に寄与する。

■経済

⇒マルシェへの出店がお店や個人、事業の宣伝になる。地元経済の好循環を生み出す。



にしがんの魅力に出会える夜
にしがん ナイトマルシェ
2024.7.6 sat 16:00~21:00
会場 中之口農業体験公園
新潟市西蒲区東小吉775-1
中之口祭り同時開催！
会場 中之口体育館エリア
初夏の夜、花火を見ながらピクニック！
グルメや体験ブース、ライブステージなど盛り沢山
Food LIVE Goods Workshop
公園内 70台
臨時駐車場 80台
にしがんでマルシェのインスタグラム
アカウントにてイベント情報を発信しています
詳細はこちらをチェック！
主催：YAKKOTE 共催：NPO法人はすなみき 新潟市まちづくりパートナーシップ事業



3か年状態目標

2026年度末の状態目標

- ▶プラットフォームを通じて、地域資源が気軽に繋がりにあっている
- ▶若者の流出抑制など、社会的な行政課題の解決に貢献している

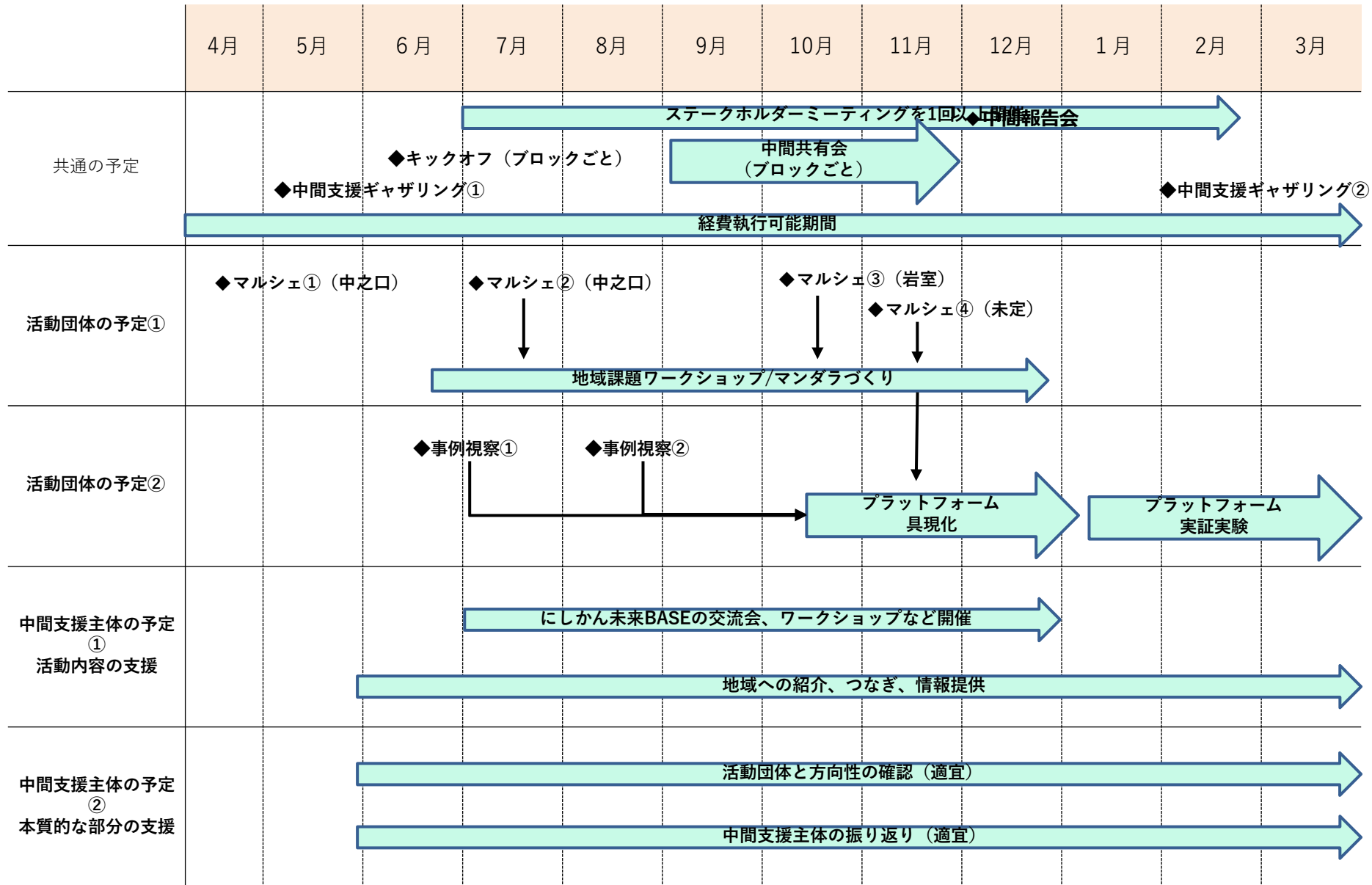
2025年度末の状態目標

- ▶プラットフォームを通じた地域イベントが開催されるなど、地域に賑わいが生まれている
- ▶プラットフォームの利用者が増加している

2024年度末の状態目標

- ▶にしかんマルシェを通じて、地域課題やニーズが明確になっている
- ▶プラットフォームが試行開始されている

活動計画



中間支援主体より

< 中間支援主体の紹介 >

- 新潟市環境部環境政策課 環境保全に係る施策の企画及び庁内調整を担う
- 西蒲区役所地域総務課 地域コミュニティの推進、地域の窓口を担う

連携

- 新潟市政策企画部
地域人材のネットワーク化や共創コミュニティの推進、各種官民連携事業の窓口を担う

活動団体の取組へのコメント、中間支援の方針・計画

- ▶ 多様な意見を取り入れながら広い視野を持ち、取り組んでいてもらいたい。
- ▶ 中間支援にも様々な支援の仕方があることを認識し、偏った支援とならないよう、適宜、振り返りながら進めていきたい。

< 現段階での支援の見立て >

- ・本事業で活動団体がどうなっていきたいか、活動団体と対話をする
- ・活動団体を地域とつなぐ